

肢体不自由のお子さんの避難計画はできていますか？



車椅子利用や装具・松葉杖等を利用している場合、移動に時間がかかります。階段の移動に支援が必要な場合もあります。肢体不自由児の避難や避難訓練の実施方法について、県内の学校から以下のような相談が寄せられています。

「車椅子での避難には、複数の教員が必要です。」

「2階からの避難の際に、誰が助けに来てくれるか不安です。」

「車椅子で階段を移動するのは危険なので、学校の避難訓練では見学をさせています。」

「装具を付けていて移動に時間がかかります。避難の順番や経路を検討しています。」

移動に支援が必要な児童生徒の避難計画を検討しようとすると、難しい状況が見えてきます。

～ 避難計画検討に関する研修会を実施しています ～

障害の状態や学校の施設・設備等、学校の状況に合わせた避難計画が必要です。

本校では、避難計画検討に関するコンサルテーションを行っています。ご要望があれば、実際に学校を訪問して避難方法の研修を実施することもできます。お気軽にご連絡ください。

【コンサルテーションの内容(例)】

避難計画を検討する際に必要な観点の提示

実際の避難で配慮が必要な内容についての検討

様々な避難方法についての提案

【避難方法の研修内容(例)】

車椅子での階段昇降・担架やおぶいひもを使った避難等

*避難計画につきましては、消防署の助言をいただくことができますのでご検討ください。



連絡先：宮城県立拓桃支援学校支援部

TEL:022-391-6551

肢体不自由児の避難計画を検討・作成することは、合理的配慮となります。

またこのような避難計画を検討・作成しておくことは、骨折などで動けない児童生徒がいる場合の対応にもつながり、全ての児童生徒の安全に寄与します。